

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 12 月 05 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加メンバーが固定化しているため、もっと地域の方の参加を呼びかける。また、報告会が中心となっているので、一諸に運営の内容等について検討し、参加者メンバーにとっても、知識や情報を得る有意義な会議にしていく。	地域の方の参加をよびかける。利用者様の家族が参加できるように、日程を調整する。会議の活性化を図り、ホームの発展だけでなく、地域の中で話し合い地域貢献できる体制を整えていく。	12ヶ月
2	23	開設から入居されている利用者が多く、認知症状も進み状態も低下している。ご自身での意思を伝えるのが困難となってきている。利用者様の行動や、表情などでその思いや、希望を受け止め、それを叶える方法を考え行動することが求められる。	ケアのばらつきがないように、申し送りを通じて、職員が同じ思いで利用者様のケアにあたる事ができる。	利用者一人一人の介護計画を確認していく。皆で利用者様の状況を分析し、どのような気持ちで、過ごされているのかを観察し、申し送りで話し合いケアの方向性を周知させていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。